



河小だより

四日市市立河原田小学校
学校通信 第15号
令和7年1月8日(水)
文責 校長 福井 宣行



新年あけましておめでとうございます。日頃より、本校の教育活動にご理解ご協力いただきありがとうございます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

河原田小学校は本年、創立150周年を迎えます。この節目の年に皆さまと共に、本校の歩みを振り返る機会となれば幸いです。

2025年は巳年(へびどし)です。干支の話題は、例年この時期だけになることが多いので、せっかくですから干支に関わって少し触れたいと思います。

蛇は変容や再生の象徴と言われます。脱皮しながら成長することが理由だそうです。実際、「脱皮」という言葉は、良い意味でつかわれることが多くなっています。

私たちは成長し、心理的に脱皮し新しい自分になれます。もっと能力を伸ばしたり、もっと良い性格に変えられたりもします。12年に1回しかないそんな干支の巳年に自分を脱皮させて、成長する機会をもってみてはいかがでしょうか。

その他、へびには「医療、生命力」(蛇がまきついた杖は、WHOでも採用されている)、「知恵」(聖書に「蛇のように賢く、ハトのように素直に」という社会を生き抜くための言葉がある)の象徴でもあるということです。

短い3学期

今日から3学期が始まりました。

3学期は、全部で約11週間という1年間一番短い学期であるため、あっという間に終わってしまいます。そんな短い期間の中で、子どもたちは、次の学年に向かって、1年間のまとめを行うこととなります。その意味で、3学期は最も短く、最も重要な濃密な期間と言えます。特に、6年生は小学校生活6年間の総まとめでもあります。

そんな濃密な日々だからこそ1日1日を大事に過ごすことが大切です。短い期間だからこそ、ゴールを見据え大切に過ごすことでより充実させることができます。子どもたちには、1月1日に、1年の目標を決めるように話をしましたが、その中で3学期にできること、3学期にしかできないことをさらに具体的にめあてにすると、より頑張る内容が明確になります。

3学期の最後には誰もが「1年間で一番充実した」という実感をもって終わることができるよう期待しています。

インフルエンザにご注意を

年末年始にも全国的にインフルエンザの罹患者が急増したというニュースを聞きます。2025年のインフルエンザのピークは1月後半に来るのではないかと予想されています。理由として、連休明けで仕事や学校が休みづらく、治りきっていない状態で無理をして学校や職場で拡散されてしまうということです。

予防としては、手洗い・うがいに加えて、十分な休養とバランスの取れた栄養摂取により体の抵抗力を高めることが大切です。

【厚生省・四日市市コラボ啓発】

本市でも、2学期後半には、学級閉鎖や学年閉鎖の学校が多数ありましたし、本校でも、インフルエンザの罹患者の増加傾向がみられました。

今週末には寒波もくるということで、寒い日が続きます。子どもそしてご家族の皆様共々、インフルエンザの予防を心がけていただくとともに、体調のすぐれない時には無理をなされないようにお願いします。



あわせて、本校で下記の通りに「すくすくの会」を開催します。インフルエンザに限らず、子どもや保護者の皆さまと健康を考えるきっかけにいただければと思います。

すくすくの会

日時：1月16日（木）5限目 【フリー参観日】

場所：河原田小学校体育館

内容：保健委員会の発表

寺島秀樹先生（寺島クリニック院長、学校医）のご講演

ご確認とお願い

先にも述べましたが、今週末には寒波が訪れ、平地でも積雪の可能性があるとのお知らせです。

警報の発表時における学校の措置としましては、配布済みの「令和6年度学校玉手箱」7ページにある「警報等の発表時における児童の登下校について」に記載してある通りです※。ご家庭でも気象情報に十分留意し、児童の安全確保にご協力ください。

学校が平常通りであったとしても、特に積雪時は、車との事故はもちろん、走って滑って転ぶなどの自損のけがが多発します。登校前に十二分なお声掛けをお願いします。

※大雪時は警報がない場合でも、積雪が一定基準(20cm程度)に達する場合は臨時休校とします。